

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) DOWAエレクトロニクス岡山(株)		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒702-8045 岡山市南区海岸通1丁目3番1号	
本票作成	部署名：保全部 保全課				
主たる業種	分類コード	28	業種名：電子部品・デバイス・電子回路製造業		
事業の概要	磁性粉の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	DOWAエレクトロニクス岡山(株)		岡山市南区海岸通1丁目3番1号	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	118,079 t CO ₂	124,156 t CO ₂	117,843 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	1	DOWAエレクトロニクス岡山(株)	124,156 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 26 年度 ～ 平成 30 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 5.1 %	0.2 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

今年度の削減CO₂量は、基準年度対比 △5.1% (目標0.2) と逆に大きく増加しており目標未達である。増加理由としては、昨年度未達と同様に、廃棄物焼却由来(非エネルギー起源)の排出量削減分が△11.2%と大きく占めている。この削減分(排出量増加)は、基準年度に対し、廃棄物焼却量の増加(非エネルギー起源)に伴うものであり、エネルギー起源だけで考えた場合については、削減率6.1%と目標値0.2%に対して5.9%と昨年度同様に大きな削減が継続出来ている。

【推進体制】

- 1) 省エネルギー推進活動の継続
 - ・ 個人単位での省エネ活動提案（改善提案提出）
 - ・ 事業所の節電活動の推進（エアコン温度の調整依頼など）
- 2) 設備改善
- 3) 毎月の製品ごとのエネルギー原単位を決算報告会にて報告
- 4) 電気/都市ガスの使用量の見える化（前年度との対比グラフ作成および掲示）
- 5) 事業所全体での生産計画の見える化による電力調整
- 6) 事業所全体での省エネ活動をプロジェクト化し、各社代表による省エネを推進
 - ・ 3か月ごとの委員会開催
 - ・ 省エネセンターによる無料診断/外部コンサルによる指導会の開催

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
DOWAエレクトロニクス岡山株	(30年度実施分) 1) 小型ボイラの燃料転換 ⇒ ▲260 t-CO2 2) 未利用熱回収による発電量増 ⇒ ▲800t-CO2 3) 照明のLED化 ⇒ ▲20t-CO2 (今後実施予定分) 1) 海水ポンプ更新 ⇒ ▲555 t-CO2 2) 未利用熱回収による発電量増 ⇒ ▲39t-CO2 3) 冷却水ポンプ適正化 ⇒ ▲74t-CO2

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】